



UMEX 夢っくす ニュース

# かわらばん

桜と日本人

大出 恭子

4月8日（土）に高田公園へのバスツアーに参加しました。国際大学から高田公園への途中、休憩に立ち寄るまつだい駅の近くに住んでいます。

最近は日本語チューターもしていませんし、知り合いの留学生が一人もいない中、深い交流ができたわけではありませんでしたが、



まつだい駅で草間彌生の作品と大地の芸術祭を紹介しました。家族で参加された学生さんがとても多く、子ども同士で隣に座り、母国語で道中ずーっと仲良く話している姿が微笑ましかったです。こんなに元気で到着する頃には疲れてしまうのでは？と心配しましたが、帰りのバスでもずっとおしゃべりしていました。内容を理解できたらいいのにと外国語習得への興味がわきました。



ふと、この子どもたちは、お花見のことをどのくらい知って参加しているのだろう、と疑問に思いました。かくいう私も、お目当ては、完全に友だちや知り合いとわいわい美味しいものを食べ歩きして、桜の写真を撮ることくらいでした。昔から花見はどちらかと言うと苦手で、それは、お酒が飲めず、花見と称した宴会が好きではないのです。更に果樹園を始めてからは、さくらんぼやプラムの花も桜と同じようにきれいなものだから、せっかくなら実を美味しく食べられる木をもっと植えればいいのと思うようになりました。そうすると、あなたは日本人が桜を愛する心を全くわかっていない、と呆れられます。

最近はオンラインでスペイン語を習っています。コロンビア人の先生が「私は桜が好きです。日本に行ったらお花見をしたい」と言ったので驚きました。日本人が桜を愛する理由を知っていることは日本通のバロメーターになっているので

しょうか…！国際交流は日本の文化を理解する一番良い機会だと思っています。







## 着物 2023年春 小島 由美

今年の桜はことの外せっかちで例年より2週間程早く開花しました。恒例の着物のシーズンが突然訪れ、私たちはせかせか、学生さんたちはそわそわする春でした。

今回は特に、待ちに待った侍に変身した方々の”ドキドキ体験”を、皆さんに成り代わって紹介します。

1. 足袋の形も履き方も不思議。
2. グレーやブルーの長襦袢を纏わされ「ブラックの着物がいいです！」と言ってみる。着物の下に着る物だと知り、ホッとする。
3. 着付けの過程で（キツイ、まだ続くのか？）と思っても、念願の侍になるために我慢。
4. やっと着付けが終わり、初めて姿見を覗くと、新しい自分に出会い感嘆！ 結構似合っていてハンサムだと思う。
5. 意味を教わったばかりの”家紋”が一緒にの友達に「Brother!」と言いたくなる。
6. 「草履が小さ過ぎます」と言ったら大きな下駄を出されたが、それには”網走番外地”と書いてあり、意味を聞いた途端に草履に戻る。
7. フェイクの刀はシェアするものなので、写真撮影の為にも持っている人をとにかく探す。たまに遠出している侍がいてハラハラする。
8. 1時間後にサロンに帰らなければならない。着るのは大変だったのに、脱ぐのは一瞬で、いきなり現実に戻される。それでも侍の余韻は残っている。←礼儀正しく感謝する。

補足: 最近のトレンドは”サングラス侍”。

よくある質問: 羽織袴はいつ着るのか。これはいつの時代からあるのか。日本人は自分で着られるのか。値段。←欲しい。しかし聞いてすぐに諦める。

今年は史上最多、145人もの着付を行いました。皆さんの人生における輝かしい1ページとして、幸せな着物姿が世界中に発信されています。この誇らしい桜のイベントに、ぜひ貴方も一緒にしましょう！





## インターナショナル・フェスティバルに参加して

平野 浩子

5月27日（土）に開催された「インターナショナル・フェスティバル」にお邪魔しました。

今年は、コロナ禍で自粛されていた飲食ブースが4年ぶりに復活し、学生さんが母国の料理を腕をふるって作ってくれました。目にも鮮やかな各国のブース、食欲を誘う匂い・・・立ち止まりたい気持ちをぐっところえながら、まずは足早にステージパフォーマンスのある体育館を訪れました。

毎回思うのですが、そこには世界中を旅しているかのような光景が・・・。伝統的な衣装に身を包んだ多くの学生さんたちが母国の文化を代表するであろう歌やダンスを披露しており、目が釘付けになりました。また、国際情報高校の生徒との合唱のステージもあり、自然と口ずさむ温かいメロディーに地元地域とも深い絆を育む大学なんだなあ、と嬉しくなりました。行き来を繰り返した飲食ブースでは、チケットと引き換えに、優しい学生さんと言葉を交わしながら各国の美味しい料理を頂きました。個人的なことではありますが、小学生の息子と参加しており、実はこのフェスティバルと小学校の運動会が毎年同日開催となっております。この日は朝から校庭に広がる万国旗に



背中を押され、興奮冷めやらぬまま午後には大学祭でその国旗の国の方々に会うことができる、なんだかとても幸せな気分を味わえるのです。息子も自然と国旗と国名を覚え、仲良くしてくれる学生さんにも会えるこのイベントが大好きです。学生の皆さんの母国を想う気持ち、誇れる文化を惜しみなく紹介して下さる姿勢に感動しながら、勿論、日本人として改めて日本の良さを感じる時間でもあります。

毎年思考を凝らしたイベントを盛大に開催して下さる国際大学に感謝しながら、来年もまたこの瞬間を味わえる日を心待ちにしたいと思います。

## 日本語チューター 篠田 幸枝



皆さん、こんにちは。この度、運営委員会の日本語担当になった篠田と言います。今年の春先に会長から仕事の手伝いを頼まれまして、主に日本語チュータープログラムを担当させて頂くことになりました。

現在、6名のメンバーの方がチューターとして活躍しています。日本語に興味のある学生さんから申し込みを頂いて、チューターもまだ募集しています。

コロナ禍前に私自身が日本語チューターとして活動していた時は、主にサロンで週1回の日本語クラスを開催していましたが、最近はオンラインで自宅で教えている方もいらっしゃるようです。

今後は学生さんたちが気軽にサロンを訪れてくれるように、日本語交流会を定期開催していく予定です。活動を再開したい会員の方と学生さんへの橋渡しになれるよう頑張りたいと思います。宜しくお願いします。

## 修了式

## 高橋 和子

6月24日（土）に南魚沼市民会館で開催された国際大学の修了式に参加して来ました。

コロナが5月より5類感染症に移行して初めての修了式となり、来賓にオリックス株式会社シニアチェアマンの宮内義彦氏をはじめ、多くの駐日大使の方々が参列されていました。この南魚沼市に多くの著名人の方が一同に介するのは、国際大学が開学以来、グローバル牽引型大学として、グローバル人材を多数輩出しているからだと痛感致しました。



さて、今年の修了生は入学時はまだコロナの影響でリモート授業で、私たちもやっと交流が再開され始めたところでのお別れとなっていました。コロナ禍で活動が減ったこともあり、夢っくすの認知度が低くなっていますが、その中でも高田の夜桜見学や着付には沢山の参加者がありました。限られた生活の中ではありましたが、少しは日本の思い出の一助になれば良いなと思います。

毎年別れは辛いですが、それぞれのお国に戻られて、活躍されることを心より祈念致します。



うおぬま国際交流協会

UONUMA Association for Multicultural EXchange



〒949-6609

新潟県南魚沼市八幡35-7

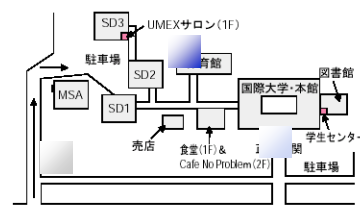
うおぬま国際交流協会（夢っくす）事務局

夢っくすサロン（国際大学第3学生寮1階）

TEL/FAX: 025-779-1520

E-Mail: office@umex.ne.jp

URL: https://www.umex.ne.jp/



## 入会方法

入会の申込書は夢っくすのホームページから入手してください。現在、申込書はFAXでの受け取りはできませんので、かわらばんに記載されてある住所宛に郵送をお願いします。会費と振り込み先は以下となっておりますが、入金の際には振り込んでよいか事前にお問い合わせください。

年会費

個人会員：3,000円

家族会員：1,500円

団体会員：1口 10,000円から任意の口数

郵便口座

口座番号：00550-7-74672

口座名称：うおぬま国際交流協会

## 担当者連絡先

高橋（会長、担当：サロン、多言語など）：070-5083-3123

櫻井（副会長、担当：イベントなど）：080-6608-4830

森山（担当：広報）：090-6945-9402

角屋（担当：キッズ）：090-8773-0329

## 【編集後記】

漸く、コロナ禍前の日常が戻り、国際大学では6月末に以前は当たり前だったスタイルでの修了式が行われ、学生を送り出すことができました。その後、キャンパスは一時静かになりましたが、今は夏期の英語集中講座が行われており、また、いつもの賑やかさに戻りつつあります。(toshi)